まちづくり交付金 事後評価シート 豊川街なか地区

平成20年12月

愛知県豊川市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名		豊川市			地区名			豊川街なか地区			面積	982ha		
交付期間	平成16年度~平成20年度		事後評価実施時期		平成20年度 交价		交付	対象事業費	2,247百万円		国費率		0.4				
			事業名														
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	道路(都市計	画道路1路線	(1)、地域生活基礎	盤施設(避難	地2箇所)										
		提案事業	保育園耐震改	保育園耐震改修等事業、地域福祉センター耐震改修等事業、市民館耐震改修等事業、防災ボランティアコーディネーター養成講座事業													
			事業名						削除/追加の理由					削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画 から 削除した	基幹事業	なし														
	事業	提案事業	防災啓発事業						関連事業で実施することから、削除。					影響なし			
		基幹事業	地域生活基盤施設(防災広場・避難地(諏訪)・避難所)						防災広場(避難地):既存の避難地を誰もが容易に活用できるよう段差解消事業を追加 避難地(諏訪):災害時の支援物資の収受拠点となる避難地を循保する事業を新たに追加 避難所:地域防災上必要な公共施設の耐震必修等事業を追加					避難地(諏訪):指標3の数値目標を上方修正 その他:影響なし			
	新たに追加した事業	提案事業	保健センター耐震改修等事業 安全・安心事業 子育で支援センター整備事業 車業効量とが指導者						小中学校耐震改修等事業:地域防災の事業効果を高めるため事業を前倒しして学校の耐震改修事業を追加 防災施設整備等事業:災害時等に誰もが容易に避難及び活用できるよう避難地の施設整備事業を追加 保健センター耐震改修等事業:地域のため、防犯が心理が設め耐震改修等事業を追加 安全・安心事業:目標の連成のため、防犯が心理解補前期例が等の設置事業を追加 子育で支援センター整備事業:交通の利性性の高い再開発ビルに総合的に整備するため新たに追加 事業効果分所過去:まちづくり取の利析のため、所用等業を拠か 自主防災意識容易事業:自主防災に対する意識の向上を図るために、啓発事業を新たに追加				事業を追加たに追加	子育で支援センター整備事業:指標4を新規追加 その他:影響なし			
	交付期間 の変更			平成16年度~平成20年度			間の変更による、数値目標への										
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指標				従前個		目標値			植				効果発現		フォローアップ	
				単位		基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度			(総合) 公共建築物の耐震化事業について、子どもが利	用する施設を中心に前倒し、まちづくり交付	予定時期	
	指標1	指標1 公共施設等の		%	51	H16	70	H21		88	0	あり なし		金を活用して耐震化をすすめたことにより、各省 ・施設に対する耐震化のきっかけとなり、所管省下 目標値以上の耐震化が実現できた。なお、まち に達するまで10数年は要していたと考えられる。	テの異なる幅広い公共施設について横断的に	平成21年5月頃	
	指標2	自主防災会の防火防 練実施		回/年	58	H16	75	H21		95	0	あり なし		耐震改修事業や防災広場の追加により、市民の ・・上に増加した。また、その増加内容についても、 えてきていることから、地域全体に効果発現して	新たに防災訓練を実施する自主防災会が増	平成21年5月頃	
	指標3	3 広域避難場所確		ha	20.95	H16	22.95	H21		22.95	0	あり なし		··計画通りに広域避難場所を整備できた	ことにより、目標値が達成できた。		
	子育て支援: 満足度		環境に対する %		27.0	H19	30.0	H21		30.5	0	ありなし		計画通りに子育て支援センターを整備さた。	できたことにより、目標値が達成で	平成21年6月頃	
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況		指 標	単位		従前値	直 基準年度	目標	値 目標年度	数 モニタリング	値 評価値	目標 達成度※1		人内の 見込み	効果発理 (総合所		フォローアップ 予定時期	
	その他の 数値指標1		+12			松华 牛皮	- 以 日禄十次		モーテリング	当川川七	建	是成光起*		(NO D.F	50元))* /Cut /th	
	その他の 数値指標2	その他の数値指標2															
	その他の数値指標3																
4) 定性的な効果 発現状況	たびたび市議会防災ボランティア	コーディネータ	付金のことが取り上げられ、制度の周知が図られたとともに、積極的な利用へとつながった。 ター養成講座により養成されたコーディネーターが講師となり、また新たなコーディネーターを養成する体制が構築されている。 学校の防犯カメラの設置により、地域の安全性を高めることができ、地元では防犯ボランティア活動が活発化している。														
5)実施過程の評価			実施内容							実施状況		•		4	今後の対応方針等		
	モニタリ	ング	なし 都市再生整						備計画に記載し、実施できた 備計画に記載はなかったが、実施した 備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス		都市再生						を備計画に記載し、 を備計画に記載はな を備計画に記載した								
	持続的なま	よづく り	郡市再 防災訓練の実施や防災啓発イベントの実施 都市再 地域での防犯活動などの継続的実施						整備計画に記載したが、実施できなかった 整備計画に記載し、実施できた 整備計画に記載し、実施できた。 整備計画に記載しなかったが、実施した				境の形成のた 防犯について	(については、各自治会毎に自主防災組織があり、活動が行われていることから、今後も継続して活動が行われやすい環)形成のための支援を行っていく。 3については、各小学校区毎に自主防犯ポランティア団体が形成され、活動が行われていることから、今後も継続して活 パティカ・カップは増か83年のための支援を行っていく			
	体制の構築		都市再 防災ボランティアコーディネーターの養成 都市再						整備計画に記載したが、実施できなかった 整備計画に記載し、実施できた 整備計画に記載はなかったが、実施した 整備計画に記載したが、実施できなかった			•	動が行われやすい環境の形成のための支援を行っていく。 - 防災ボランティアコーディネーターの会による防災ボランティアコーディネーターの養成が行われていることから、今後も継続して活動が行われやすい環境の形成のための支援を行っていく。				
								部川舟土笠	井土金哺計画に記載したか、美施でさなかつた								

様式2-2 地区の概要

豊川街なか地区(愛知県豊川市) まちづくり交付金の成果概要 評価値 まちづくりの日標 目標を定量化する指標 従前値 目標値 大目標 : 安全・安心・地域防災のまちづくり ~子どもの命を守る積極的な防災まちづくり~ 公共施設等の耐震化率 51 H16 70 H21 88 H21 単位:% 災害時に何としても守るべき子どもの施設等の耐震改修等を短期間かつ集中的に行い、安心して定住で 自主防災会の防火防災訓練実施 58 H16 75 H21 95 H20 単位:回/年 るまちづくりを推進する。 20.95 H16 広域避難場所確保面積 単位:ha 22.95 H21 22.95 H21 目標2 地区内の物資輸送路、緊急車両用道路等に資する防災道路網を整備し、また、広域避難地等の防災広 子育て支援環境に対する満足度 27.0 H19 30.0 H21 30.5 H21 単位:% を取得することで、災害に強い中心市街地(街なか)を実現する。 単位:

口提案事業

子育て支援センター整備事業

【子育て支援環境の向上】

口提案事業

養成講座事業

【防災意識の向上】

防災ボランティアコーディネーター

〇関連事業 総務省起債

公共施設耐震改修事業

【公共建築物の耐震化】

月標3 地区住民による自主防災機能を向上させ、ハードとソフトの相乗効果を発生させることで、地域防災のま

公共建築物の耐震化事業

:地区内の保育園、小中学校、武道館、地域福祉センター、市民館、保健センター の耐震診断と耐震改修工事を行いました。





避難地整備事業(避難地確保・段差解消・トイレ改修等)や防犯灯 道路補助照明灯等の設置事業











防災ボランティアコーディネーター養成講座事業

:災害時に、防災ボランティアによる救援・救助活動が円滑・効果的に行わ れるよう、市の設置するボランティア支援本部でボランティアと被災者との 調整を行う人材を養成しました。





子育て支援センター整備事業

:プリオビル5階に子育て支援センター、ファミリー・サポート・センター、少年 愛護センター、家庭児童相談室を集約しました。





まちの課題の変化

都市計画道路上宿樽井線の整備、防災広場や避難地の整備に併せ、ソフト事業である自主防災意識啓発事業などの実施により、災害に強い基盤作りが進んだことに併せ、自主防災組織による防火防災訓練も積極的に行われ、と りわけ、新たに防災訓練を実施する自主防災会も増えてきており、地域防災のまちづくりの推進が図られた。

保育園や小中学校といった、何としても守るべき子どもの施設等を中心に公共施設の耐震改修が進み、公共施設の耐震化率が88%となった。それにより、公共施設利用者が安心して利用出来るようになり、安全なまちづくりが実 現してきている。

・所管となっている省庁は異なっているものの、子どもの命を守るという市としての共通目標をもち、事業部局だけでなく、企画部局、財政部局とも連絡を密にし、進行管理等の連携を図ることができた。

・子どもの施設等の耐震化や、子育て支援センター等の整備により、災害にも強く、安心して暮らせる市街地の整備が行われ、都市の魅力向上を図ることができた。

口提案事業

広場段差改修等事業

避難所整備事業

■基幹事業

安全·安心事業

【防犯灯や道路補助照明灯等の設置】

■基幹事業

街路事業 上宿樽井線

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)

自主防災組織による防災活動の継続

自主防災組織による防災訓練等の回数がまちづくり交付金の期間内に増加し、高水準で推移していることから、引き続き、今の水準を維持し続けるようにする。

都市計画道路上宿樽井線の整備

まちづくり交付金の期間内に、地区の整備方針としていたボトルネックの解消は図られたものの、引き続き、整備を進めていき防災道路網の整備を推進していく。

都市の魅力向上 都市の魅力向上を図る施設整備が進められていることから、そういった施設を核として、まちの賑わいを形成するとともに、中心市街地活性化基本計画の作成とも連動し、住みたくなるまちを維持し続ける必要がある。

住宅・建築物の耐震化の促進 民間の住宅、建築物の耐震化の促進についても取り組んでいく。